

令和3年度 愛媛県がん診療連携協議会
第2回 がん看護専門部会 議事録

開催日時 令和4年1月25日(火) 14:00~15:00 WEB会議
開催場所 四国がんセンターから発信
司会進行 がん看護専門部会長 四国がんセンター看護部長 多田 清美
出席者自己紹介 (出席者一覧参照)

開会の挨拶 (多田部会長)

本日は、お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。

本日もWebでの開催とさせていただいております。コロナの第6波で各施設大変ご多忙中のところ、日頃からご協力いただきまして感謝申し上げます。本日は短い時間ですが、よろしくお願いいたします。

議事内容

1) 令和3年度活動報告 (資料1)

定例会は、本日を含め2回、予定通り開催した。

がん看護実践能力向上研修会は、今年度WEBで5日間、9名の参加があった。

フォローアップ研修は、1月14日、3月3日に修了式で終了となっている。

トピックス研修は、2つ、ELNEC-Jに44名、ACPのエビデンスと実践に145名の参加があった。

がん看護実践能力向上研修会の目的は、従来の6つから4つに絞り、特に、がん対策推進基本計画の分野別施策から、がん医療の充実、がんとの共生の理解と実践を深めるところを主な目的としている。

能力向上研修会の日程は、残すところ3月3日の事例発表会、閉講式・修了式で今年度のWEB研修を終了する予定となっている。各現場では、事例展開、WEB環境の調整等ご尽力いただき、感謝する。

2) 能力向上研修の評価及び課題 (資料2)

(1) 自己評価とファシリテーターミーティングでの課題

受講者とファシリテーターの自己評価、ファシリテーターミーティング(1回/週)からの意見を「自己評価とファシリテーターミーティングでの課題」として、7つの課題をまとめた。

①評価ポイントが明確でない

実習中に出た課題であり、どのような評価が能力向上への支援に繋がるのか迷ったという意見があった。

②現在のプログラムの構造では質の担保が十分ではない

今年度は、初めてのWEBであり、研修期間が大幅に縮小し、講義も5日から2.5日に減少した。その結果、知識の提供が十分でないという意見があった。

③ファシリテーターと受講者の面談やサポート体制が定まっていない

面談日の設定を取り決めていなかったこともあり、定期的な面談ができていない施設、できなかった施設とばらつきが生じた。計画的な面談方法、専門部会としての支援について検討が必要という意見があった。

④他部門実習の調整が難しい

コロナ禍の影響もあり、実習期間中での勤務調整、日程調整が難しかったとの意見があった。

⑤受講者間あるいは受講者とファシリテーターのグループダイナミクスが十分でない

研修会の日程の中で、グループディスカッションが2日間となり、受講者間の学び合いが十分でなかったと考える。

⑥ファシリテーターの役割が明確ではない

ファシリテーターの役割は、概要を伝え、役割発揮において相談しながら進めていたが、十分でなかったと考える。

⑦研修要綱に不備がある

研修要綱に一部不備があった、記載内容に齟齬があった。

(2) 受講者の自己評価

自己評価の全項目において、研修前と比較し、研修後は有意に得点が上がっていた。学びの多かった研

修になったと考える。受講者の意見をまとめたが、グループダイナミクスについて、もう少し良かったという意見があった。

(3) ファシリテーターの自己評価

ファシリテーターの自己評価は、役割として提示していた項目に対する評価となっている。⑮ファシリテーターである自分の活動に関してのリフレクションを行うことができる、⑯ファシリテーターである自分の活動に関しての今後の課題の明確化が図れる、⑰論理的な解決策の方向を探るなどの構造化に取り組める、の3つの項目が有意に上がっていた。

⑥～⑭の項目は、研修前から高くなく、研修後も上がらなかった。これは、受講者がどのように取り組めたのか、またそれに対する支援方法の迷いなどが影響しており、ファシリテーター間の相談は必須であると考えられる。

(4) 報告に対する質問や意見

A 病院：自己評価の前後、まとめにあるように、当院の受講者からも勉強になり、自施設の患者を通し感じられたことがよかったという意見があった。ファシリテーターも今回が初めての経験であり、戸惑いながらの取組となったが勉強になったとの意見があり、双方にとってよかった研修だった。また、WEB研修からグループダイナミクスは弱かったかもしれないが参加しやすく、今後、子育て世代が参加できると期待している。

多田部会長：今年度、WEB開催ではあったが、学びが多く、よかったという意見をいただくことができた。

3) 令和4年度研修企画計画（資料3）

(1) 令和4年度がん看護実践能力向上研修会の企画案について

①現状と課題

今年度の研修課題から、目標の設定が漠然としており、評価しにくいものとなっていたため、より詳細な目標の設定が必要である。また、受講者を支援する支援者の育成も重要な課題であり、ファシリテーターの育成も同時に行っていくことが必要であると考えられる。

②研修目的

受講者に対するものとファシリテーターに対するものを立案した。

③目標

受講者に対して、5つの目標を設定した。今年度の目標4つを統合し、目標1～3とした。「4. がん患者および家族に関わる倫理的課題を発見し、解決に向けた取り組みを行うことができる」「5. 自分の行った実践の評価ができる」は、今年度ファシリテーターからの意見を組み込んだ。

ファシリテーターに対して、2つの目標を設定した。「1. 役割の発揮方法を検討できる」「2. 役割の実施の評価ができる」とし、ファシリテーター個々が、できていることを認め、自信に繋げられるようにしていきたいと考えた。

④具体的な目標

受講者に対するものとファシリテーターに対するものを立案した。

目標の追加として、「セルフケアについて」「がんサロンへの参加」「危機理論」の3つの内容を検討している。今年度、実習の中で参加できた「がんサロン」を通し、患者としてではなく生活者としてみていく視点ができた。また、事例検討の中で、「危機」の視点が外せないことがわかった。このことから、3つの内容を追加することで、より深いアセスメントにつなげられるのではないかと考える。

目標5に対しては、質の高いものにしていくために「看護実践の展開に関する講義」「レポート」の追加を考えた。また、グループダイナミクスの充実として、「中間評価会」を新たに追加した。

以上より、日程は、1.5日の追加となり、今年度6.5日から8日間として計画したいと考えている。しかし、これは、(案)の段階であるため、意見を頂きたい。

(2) 研修企画に対する質問や意見

B 病院：今年度、WEB研修ではあったが、学びの多い研修であったと思う。次年度の研修企画について、ファシリテーターの役割が明確でないという意見がありながらも、実践できる看護師の育成を支援するファシリテーターを育成するのであれば、きちんとファシリテーターの役割を明確にしておく必要があるのではないかと考える。講義の追加として、「セルフケアについて」「危機理論」はとても大事であるため、日程が増えるのは構わない。ファシリテーターからあった評価のポイントが明確でないという意見について、具体的な事例を教えてください。

四国がんセンター：資料9ページに記載しているファシリテーターの具体的な目標として、13項目を挙げている。これは、今年度と同じであるが、内容から『何ができていたらいいか』がつかみにくい目標となっていた。例として、目標2-1)について、受講者個人の学習目標の確認ができるに対し、何ができていたら『確認ができる』になるのかということがあった。

しかし、ファシリテーターの目標に対し『何ができていたらいいか』は、具体的に明確化しづらく、また、受講者の状況によってかわるものであり、これについてはもう少し検討が必要と考えている。

B 病院：次年度も同じ状況にならないためにも、ファシリテーターの役割を具体化しておかないと、実践できる看護師の育成を支援するファシリテーターの育成の評価に繋がらないため願います。

C 病院：今年度、自施設実習であり、双方にやり取りしながらできたことはよかった。しかし、業務と切り離してできたらうれしいとの意見もあった。次年度、研修目的にファシリテーターの育成がある。ファシリテーターの研修企画としての運営となり、ファシリテーターの選定についても受講者の選定のように考慮が必要なことがあるのか教えてほしい。

四国がんセンター：今回、ファシリテーター自身にもスキルアップやブラッシュアップが必要と考え、研修目標に掲げた。しかし、研修運営として公募することは考えていない。次年度の研修企画としてではなく、ファシリテーターマニュアルとして明記し、提示していきたい。

受講者とファシリテーターの取り組みがどのようにすればリンクできるのかを一緒に検討していたため、研修企画という形となってしまった。そこは、分けて考えていきたい。

多田部会長：あくまでも、研修企画は、受講者のためのプログラム、ファシリテーターの取り組みは運用マニュアルとして、ファシリテーターの方のみに示していきたい。また、1.5日の期間が延びることにも賛同いただき感謝する。

4) 次年度の定例会の日程について

コロナが落ち着いているかもしれないが、次年度もWEB会議として計画する。1回目は9月27日(火)、2回目は2023年1月24日(火)の14:00から15:00と、第4火曜日の定例日となっている。

閉会の挨拶 (多田部会長)

皆様の御意見、ご提案を踏まえて、今後も部会として役割を果たせるように努めていきたいと思っております。今後も引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

お世話になった部長様方、お元気で過ごしてください。対面でお会いできなかったことが非常に寂しい思いですが、引き続き、ご提案等いただき、参考にさせて頂きたいと思っております。

次年度は、9月27日(火)が第1回目となります。よろしく申し上げます。

本日は、お忙しいところご参加いただきありがとうございました。以上でがん看護専門部会を終了します。